

もくじ

12月定例（拡大）執行委員会報告

教育基本法改悪反対「ぷちしんぼ」での組合委員長挨拶

-----  
12月定例（拡大）執行委員会報告

12月21日（木）に12月定例執行委員会（拡大執行委員会と合同）が開かれました。  
以下はその議事概要です。

1．組合加入承認について

国際文化創造コース 小林 誠氏 承認

2．次期執行委員および選挙管理者候補について

選出方法を確認した。

3．今後の日程について

2月の選挙までの日程について検討・確認した。

4．11月30日の団交内容の整理と今後の方針

団交の内容については、おって組合員の皆様にご報告いたします。

**教育基本法改悪反対「ぶちしんぼ」での組合委員長挨拶**

12月6日、横浜市大教員・学生有志主催の教育基本法改悪反対シンポジウムが開催され、多くの参加者のもと、熱い議論が繰り広げられました。教員組合はこのシンポジウムに協賛し、岡委員長が以下のような挨拶をおこないました。

\*\*\*\*\*

教育基本法改悪反対・横浜市大集会における挨拶

2006年12月6日  
横浜市立大学教員組合  
執行委員長 岡 真人

第二次大戦後の日本は、戦前の天皇制国家体制がもたらした未曾有の戦争の惨禍を二度と引き起こすことがあってはならないという痛烈な反省に基づいて出発した。天皇制イデオロギーによる軍国主義と思想統制を否定し、国民主権、平和主義、民主主義に基づく新しい国づくり・人づくりが目標に掲げられた。その実現に向けての最大の法律基盤が憲法と教育基本法である。

戦後60年にわたって封じ込まれてきた古い国家思想は、優勝劣敗の新自由主義と奇妙な形で合体しつつ、今「美しい国」「民族の伝統や郷土を愛する心」、個人の尊厳ならぬ「国家の品格」などという表現を身にまとって再登場しようとしている。憲法と教育基本法の換骨奪胎はその最も重要な戦略目標としての位置を占めている。戦前・戦後の歴史の反省を忘れたとき、いつか来たあの道、思想統制と戦争への悲惨な道に迷い込んでゆく危険が増してゆく。このことに大学人として、学生として深く思いをいたし、間違いを正す必要がある。本日の集会はこのような意味を持つ大切な機会である。「物言わぬ羊」にならぬよう、考え行動することを呼びかけて挨拶とする。

-----  
教員組合に皆様の声をお寄せください  
-----

発行 横浜市立大学教員組合執行委員会  
〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸2番2号  
Tel 045-787-2320 Fax 045-787-2320  
E-mail : kumiai@yokohama-cu.ac.jp  
組合HP : <http://homepage3.nifty.com/ycukumiai/index.htm>  
-----